

平成25年度

事務事業評価表 A (平成24年度の実績評価)

記入年月日
平成 25 年 4 月 1 日

事務事業名		伝統的建造物群保存地区保存事業				区分		事務事業No.	30513310	
						<input checked="" type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	10	
		政策体系上の位置付け				<input checked="" type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	主管課		
政策体系	総合計画の施策名	305	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化財課 33	
	施策名	5	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	石川文雄	
	基本事業名	1	文化財の保存			<input checked="" type="checkbox"/>	単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業	グループ	文化財G	
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	寺崎大貴	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計				
	1	10	5	9	1	伝統的建造物群保存地区推進事業		<input type="checkbox"/>	単年度のみ	
法令根拠	文化財保護法				<input checked="" type="checkbox"/>	単年度繰返し (平成19年度～)				
					<input type="checkbox"/>	期間限定複数年度 (年度～年度)				

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標		
手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容) 桜川市真壁伝統的建造物群保存地区保存計画に基づき、保存地区内の修理・修景を進め、町並み環境を整備する。 ・制度の説明(規制、補助) ・次年度事業募集 ・設計相談(修理・修景・許可基準) ・事業実施指導(各種手続き、書類作成、現場監理等に対する)	② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動 修理事業(災害復旧) 伝建地区内で実施した修理・修景事業に補助金を交付する。
	③ 対象(誰、何を対象にしているのか) ・桜川市真壁伝統的建造物群保存地区 ・保存地区内の住民および建造物等	⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア 保存地区の面積 ha イ 特定物件の数 件
目的	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 伝統的建造物等を修理・修景する	⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) ア 保護措置件数 件
	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか) ・伝統的な町並みが保存・整備される・地区住民が町並みに誇りと愛着を持つ ・市民が真壁の町並みに誇りと愛着を持つ	⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) ア 文化財等を大切に、後世に伝承していくべきと思う市民の割合 %

(2) 指標値の推移									
区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
⑥活動指標	ア 回	5	5	5	5	5	5	5	期間限定 総投入量
	イ								
	ウ								
⑦対象指標	ア ha	18	18	18	18	18	18	22	
	イ 件	167	169	172	175	180	181	182	
	ウ								
⑧成果指標	ア 件	3	13	30	10	5	5	5	
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア %	90	90	90	90	90	90	90	

(3) 投入量(事業費)の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
事業費	財源内訳	国庫支出金 千円	2,500	168,701	258,500	41,250	150,000	150,000	10,000	780,951
		県支出金 千円								
		地方債 千円								
		使用料・手数料 千円								
		その他 千円	88			10,001				
		一般財源 千円	6,713	90,641	116,685	12,051	71,298	71,298	11,298	
	事業費計(A) 千円	9,301	259,342	375,185	63,302	221,298	221,298	21,298	1,171,024	
	人件費	正規職員従事人数 人	3	3	3	3	3	3	2	
		述べ業務時間 時間	3,628	4,000	6,000	6,000	6,000	6,000	4,000	
		人件費計(B) 千円	11,029	12,160	18,240	18,240	18,240	18,240	12,160	
トータルコスト(A)+(B) 千円		20,330	271,502	393,425	81,542	239,538	239,538	33,458		
投入量	事業費の内訳	24年度事業費実績(千円)	25年度事業費 予算(千円)	26年度事業費 計画(千円)	27年度事業費 計画(千円)	28年度事業費 計画(千円)				
		共済費 20	報償費 75	報償費 25	報償費 25	報償費 25				
		賃金 247	旅費 328	旅費 300	旅費 300	旅費 300				
		旅費 299	需用費 454	需用費 700	需用費 700	需用費 700				
		需用費 182	役務費 21	役務費 21	役務費 21	役務費 21				
		負担金 50	使用料・賃借料 24	使用料・賃借料 24	使用料・賃借料 24	使用料・賃借料 24				
		補助金 173,443	負担金 50	負担金 50	負担金 50	負担金 50				
		繰越 200,944	補助金 62,350	補助金 220,000	補助金 220,000	補助金 220,000				
		合計 375,185	合計 63,302	合計 221,120	合計 221,120	合計 21,120				

(4) 当該年度の実施内容		25年度の事業内容	26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する		災害復旧事業 一般修理修景事業	災害復旧事業 一般修理修景事業	災害復旧事業 一般修理修景事業	一般修理修景事業
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業 →					

事務事業名	伝統的建造物群保存地区保存事業	事務事業No.	30513310	所属課	文化財課
-------	-----------------	---------	----------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

町並み保存運動を背景に、平成11年度より登録文化財制度を積極活用し、町並み保存事業に着手した。平成15年度から平成17年度にかけて伝統的建造物群保存対策調査を実施し、平成18年度に伝統的建造物群保存地区保存条例を制定。平成19年度に伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し、平成21年度に伝統的建造物群保存地区制度を導入した。平成22年6月に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

災害復旧事業の促進。修景事業への取り組み。

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

		評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	古い町並み、伝統的建造物を活用した「住み良いまち・住み続けたいまち」の創出に寄与している。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	伝統的建造物群保存地区の決定および運営は、住民と市町村とが行うこととなっている。規制と補助を行う制度であるので、市町村が役割を果たさなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	保存地区については将来的に拡充すべきものとして計画しており、状況が整い次第、隣接地区へも対象を拡大する。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	保存会・審査制度を確立して、よりスムーズな制度運営を行う必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	都市計画決定を行い、保存計画に規定した町並みの保存・整備事業であり、廃止できない。修理の急がれる伝統的建造物が多く、事業を休止する状況にない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い	具体的な手段、事務事業名 都市計画区域内における都市計画決定であり、都市計画部局との連携が不可欠である。都市計画部局の管轄する景観計画に関する事業や、歴史的風致維持向上計画の実施に関する事業との連携も不可欠。
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など))	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	修理・修景事業を開始したばかりであり、事業費削減の余地はない。また平成23年度より東日本大震災からの復旧事業に取り組んでおり、事業費が増加している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	修理・修景事業を開始したばかりであり、削減の余地はない。また平成23年度より東日本大震災からの復旧事業に取り組んでおり、業務量が増加している。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	伝建審議会で決定された内容をもとに地区の運営が行われるものであり、地区内に公正に適用される。桜川市の誇り、また歴史・観光資源として広く市民に寄与し、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成22年度は国の重伝建地区選定を受けた。 平成23年3月の震災に甚大な被害を受け、災害復旧事業を開始した。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3)-1 改革改善策																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>